

嬉野温泉駅周辺
まちづくり委員会

提言書

(概要版)

平成 28 年 3 月

I 駅周辺まちづくりの目標

上位計画から導かれる駅周辺まちづくりの目標
 交流機能の充実によって嬉野市全体の発展に寄与する

交流の主な対象（ターゲット）

- 市民利用と来訪者利用：嬉野への来訪者増加を目指す
- 来訪目的からみた客層想定：観光客を主な対象として想定
- 来訪手段からみた客層想定：
 - ・新幹線・道路からのアクセスの両方を想定
 - ・新幹線利用をやすくし、公共交通機関による来訪客を増やす

嬉野地区全体の整備の考え方

- 【中心街】嬉野観光の中心地としての魅力向上
- 【周辺地区】立ち寄りポイントとなる観光拠点の充実
- 【ネットワーク】駅と温泉街を結ぶネットワークの形成

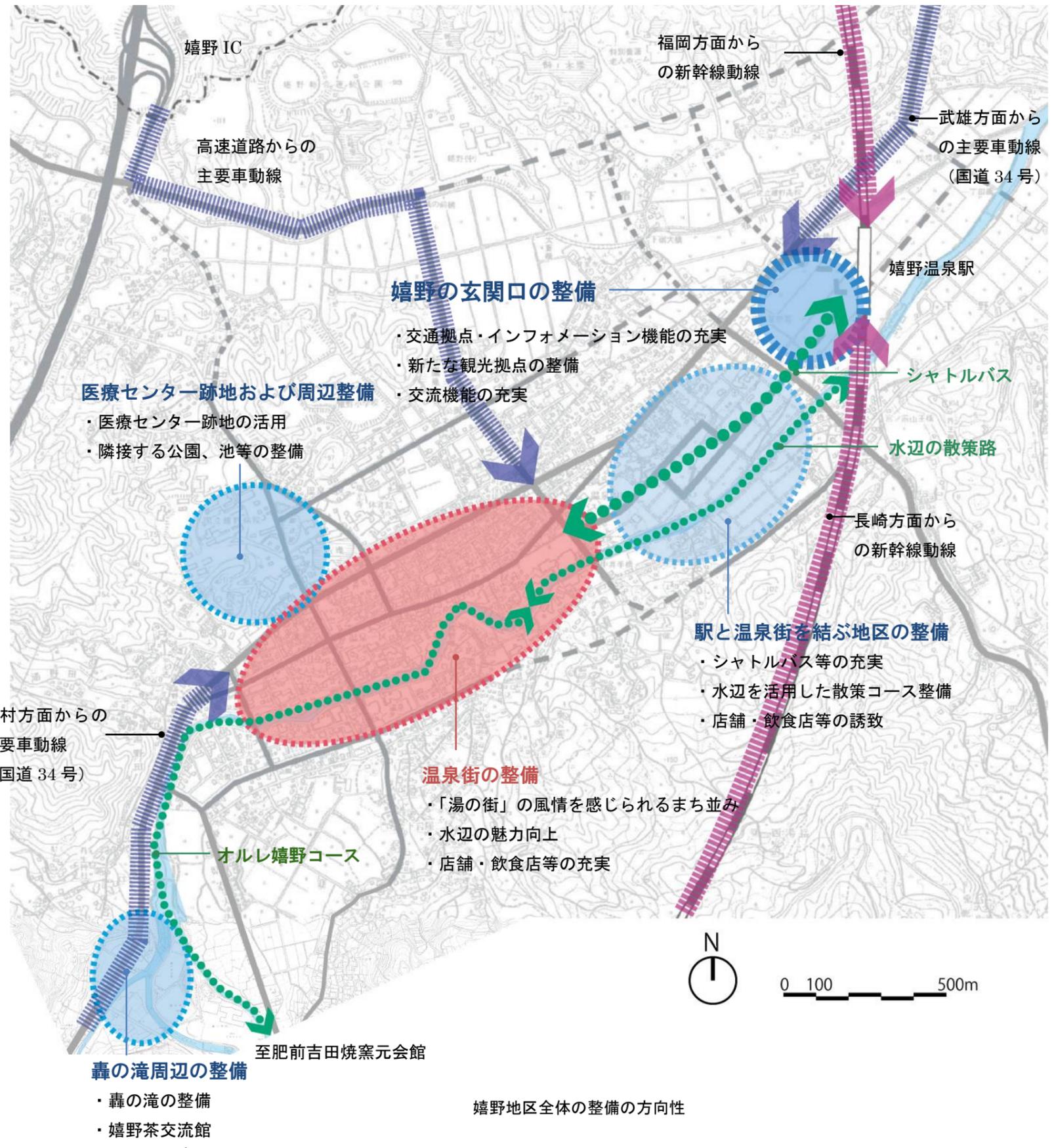
駅周辺まちづくりの役割

- 嬉野の新たな玄関口としての機能の充実
 - ・新幹線客に対応した交通拠点機能
 - ・インフォメーション機能
- 新たな立ち寄りポイントとしての機能の充実
 - ・嬉野の魅力を伝える飲食・物販・体験機能
 - ・交流を通じて嬉野をアピールする情報発信機能
- 嬉野のイメージを向上させる、新たなシンボルとしての役割
 - ・健康と癒しのまちのアピール
 - ・緑豊かな湯の街のアピール
- 魅力を競い合うことによる、嬉野地区全体のレベルアップ

■計画の目標

健康と癒しのまちをアピールする 嬉野の新たなスタートポイント

- 新幹線を利用して温泉宿にスムーズに行ける、旅のスタート地点
 - ・駅～温泉宿間の快適な移動をサポート
 - ・必要な情報が簡単に入手できる環境形成
- 嬉野の魅力を新たな視点で高めていく、まちづくりのスタート地点
 - ・温泉街を補完する立ち寄り拠点
 - ・訪れることで癒され、健康になるまちというイメージをアピール
 - ・駅前から温泉街まで一体的に、歩いて楽しいまちを形成



II 導入機能の検討

1. 導入機能の考え方

駅周辺まちづくりの役割

- 嬉野の新たな玄関口としての機能の充実
- 新たな立ち寄りポイントとしての機能の充実
- 嬉野のイメージを向上させる、新たなシンボルとしての役割

2. 導入を検討する機能

①公共交通を利用する個人客がスムーズに旅館に行ける交通拠点機能



観光スポットを巡回するバス



レンタサイクル

②嬉野や周辺の情報を得ることができるインフォメーション機能



観光案内所



展示コーナー

③嬉野の魅力を伝え、観光拠点ともなる飲食・物販・体験機能



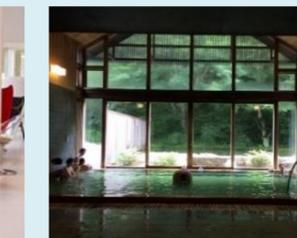
新鮮な地元産品を選べるマルシェ



個性的な品ぞろえのセレクトショップ



ゆったり過ごせるカフェ



入浴施設

④交流を通じて嬉野をアピールする情報発信機能



屋外イベント



屋内イベント



レセプション



研修・発表会

⑤充実したバリアフリー機能（以上を支える基本的機能として）

- ・スムーズな乗降が可能な交通施設
- ・誰もが使いやすいトイレ・駐車場等
- ・外国人でもわかりやすいプロクトグラム、カド

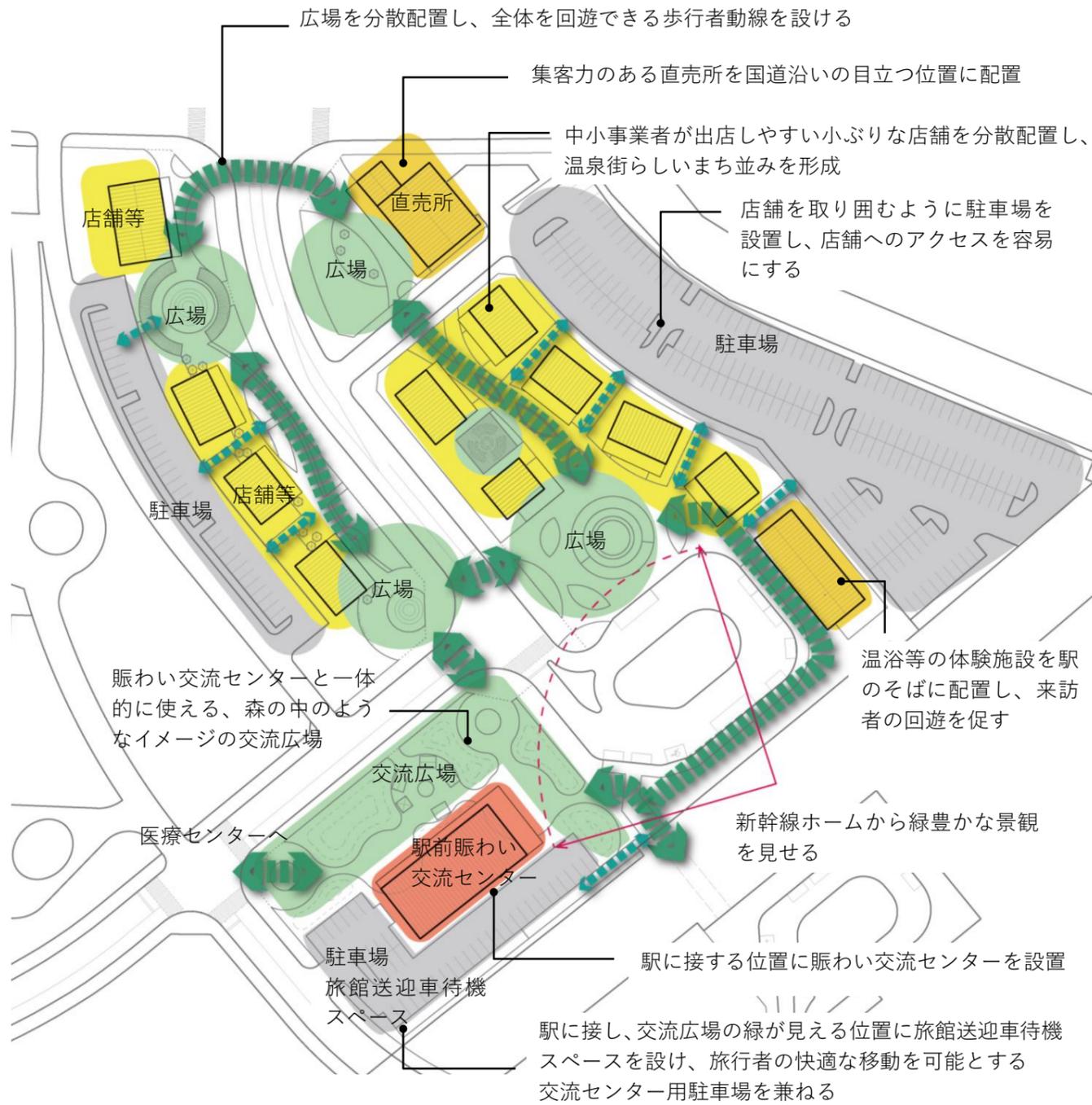
3. 導入施設一覧

導入検討施設	内容	規模の目安
1. 交通拠点機能 公共交通を利用する個人客がスムーズに旅館に行けるよう、乗り換えの場を整備		
交通広場	・バス、タクシーのスムーズな乗り換えの場	4000㎡程度
旅館送迎車待機スペース	・各旅館の送迎用車両が待機するスペースを交通広場とは別に整備し、宿泊客のスムーズな乗り換えを可能とする	10台分程度
団体バス用待機スペース	・駅での乗り換えがどの程度見込めるか不明のため、独立したスペースは設けず、旅館送迎車待機スペースと兼用とする	
待合室	・駅舎内の設置を想定	
循環バス	・将来的に駅と温泉を結ぶ循環バス路線を検討	
荷物配送受付	・駅～旅館間で荷物を運搬し、旅行者は手ぶらで散策が可能となる仕組みの導入を検討	
2. インフォメーション機能 嬉野や周辺観光地の情報を得ることができる機能を充実		
観光案内所	・嬉野および周辺の観光案内、宿泊・レンタカー・タクシー等の手配を行う ・駅舎内または駅出口に近い位置を想定	100㎡程度
3. 飲食・物販・体験機能		
<ul style="list-style-type: none"> ・嬉野における新たな観光拠点の形成を目指し、飲食・物販機能や、健康をテーマとした体験機能を充実 ・新幹線乗降客だけでなく、国道経由での車による来訪客や、医療センター来訪者等を見込む ・温泉、癒し、健康といった嬉野のイメージをアピールし、嬉野のブランドイメージを高めることができるような施設構成を目指す ・医療との連携をテーマにした施設の導入も検討 ・嬉野および周辺の農産品・工芸品等を積極的に扱う 		
直売所	・嬉野や周辺の農産物等を直売し、地域の農業振興の拠点とする ・集客の拠点のひとつとする	400㎡程度
物産販売	・嬉野や周辺の産品を中心に販売し、産業振興の拠点とする ・温泉、癒し、健康といった嬉野のブランドイメージを高めることができる店舗構成を目指す ・店舗毎に個性を出せる個店形式とする	1,500㎡程度
カフェ・レストラン	・癒しや健康をテーマとし、ゆったりとした時間の流れを楽しめる店舗を中心に構成する	
温浴施設	・美肌の湯を気軽に体験できる施設	500㎡程度
4. 交流・情報発信機能 市民と来訪者との交流を深め、嬉野をアピールできる情報発信の場		
駅前賑わい交流センター	<ul style="list-style-type: none"> ・多機能に使える屋内スペースを整備する ・市民が積極的に活用することで内外への情報発信ができる場とする (例) <ul style="list-style-type: none"> ・農産品・工芸品等の展示会・品評会・即売会 ・市内各種団体の発表会、展覧会 ・パーティー、披露宴など ・駅周辺のまちづくりに関する推進団体や、観光協会、市民活動グループ、NPOなどの活動拠点となる事務スペースを設ける 	500㎡程度 最大人員 200名程度
交流広場	・交流センターと一体的に小規模な屋外イベントが行える広場を設ける	500㎡程度

Ⅲ 土地利用方針の検討

1. 土地利用の考え方

- 全体を统一的に整備
- 森の中に小さな建物をちりばめた、親しみやすいまち並み
- 広場を環状につなげた回遊動線
- 利用しやすい公共交通と駐車場
- 駅前の賑わい交流拠点



土地利用の考え方



2. 景観形成イメージ

○森の中にたたずむような、緑に包まれたまち



緑に包まれた商業施設事例（ハルニレテラス）



緑の中の店舗

○緑に溶け込む、開放的な建物



公園内のカフェ事例（福岡）

○屋内外が一体となった、緑の中の賑わい空間



緑の中の交流広場と駅前賑わい交流センター

○ゆったり佇む場の提供



休憩コーナー



庇の下の休憩スペース

○温泉らしさの展開



湯けむりプロムナード



噴水

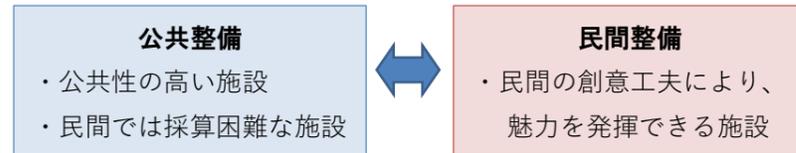


IV 事業手法の検討

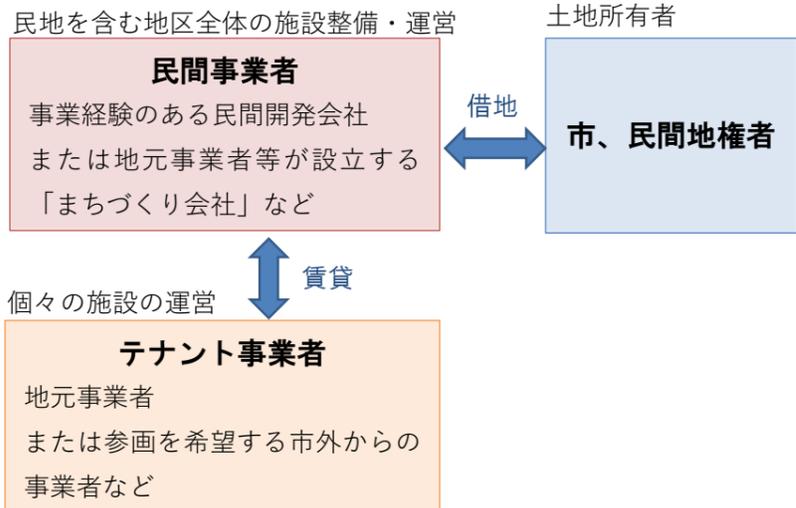
1. 事業化に向けての基本的な考え方

- 官民の適切な役割分担
- 市有地と民有地の統一的な整備を可能とする体制づくり
- 地元の方々の積極的な参画

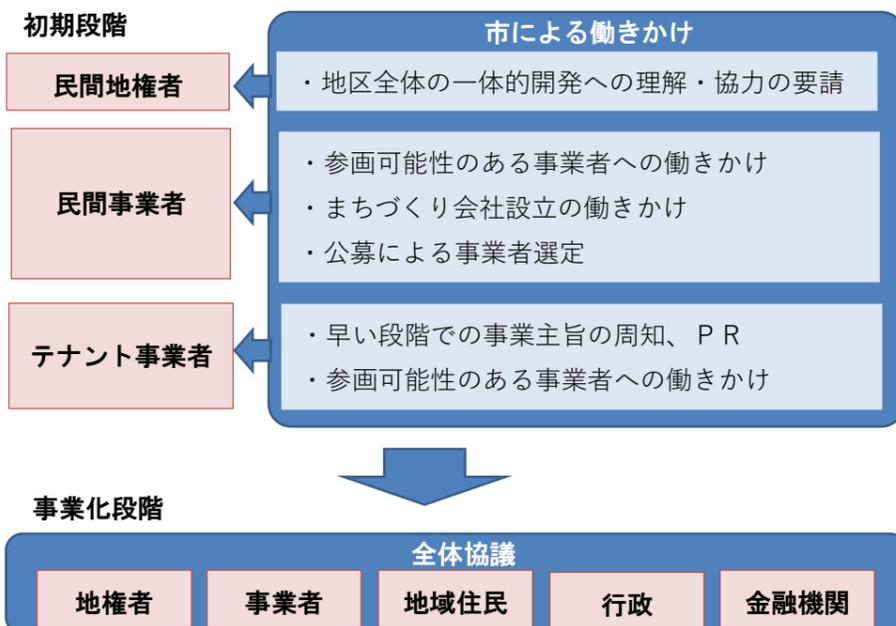
2. 事業体制のありかた



3. 民間事業者の参画のありかた



4. 事業推進のありかた



5. 建設費概算

施設	面積 (㎡)	単価 (千円/㎡)	金額 (百万円)
【公共整備】			
駅前賑わい交流センター	500	250	125
公園・緑地・広場・建物外構	13,000	20	260
駐車場	7,300	3	22
小計			407
【民間整備】			
店舗	2,350	120	282
合計			689

6. 事業スケジュール

- ・新幹線開業に合わせて施設整備を行い、早期に賑わいを形成
- ・民間地権者との協議はできるだけ早期に行うことが必要

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
新幹線			工事				開業予定 ▲
土地区画整理事業	道路工事等	整地工事・公園工事等			駅前広場等		
医療センター							▲開院予定
民間地権者との合意形成	合意形成						
交通拠点・インフォメーション機能							
飲食・物販・体験機能	合意形成	事業方式決定	事業者募集	設計	施工	開業	▲
情報発信機能	合意形成	基本計画		設計	施工	開業	▲

7. 来訪客数等に関する試算

①来訪客数の想定

- ・新幹線利用による立寄人数：最大 23 万人/年
- ・国道からの車による立寄り：35 万人/年程度
- ・類似例等から、両者合わせて 40 万人の来訪客を見込む
- ・国道からの立寄りも見込める好立地を活かした施設整備によって新幹線利用客数を伸ばし、嬉野市全体への観光客を増加

②経済効果

- ・年間売上：約 7 億円を想定
- ・新幹線開業による市全体の観光関連の売上増加：27 億円/年
- ・新幹線開業のチャンスを活かすには、嬉野市の魅力向上が不可欠
駅前まちづくりはそのための重要な施策

③民間事業者の事業採算性

- ・民間事業として成立させるには、市による立地優遇策が不可欠

V 今後の課題

1. 事業化に向けての合意形成
2. 事業の仕組みの構築
3. コーディネート体制の確立
4. 民間地権者の土地も含めた一体的まちづくりの方策の検討
5. 事業の具体像の検討